



羽曳野市駒ヶ谷地区新池

2016 新池のカワバタモロコ生息調査報告

2015より始まった羽曳野市駒ヶ谷地区新池（以後新池）の生息域外保護池としての活用は、池干しによる生息環境の整備からスタートした。（池干しの様子は昨年（2015）の報告をご覧ください。）

昨年（2015）の池干しによる外来魚駆除により、カワバタモロコの生息環境が整った新池に5月28日・6月4日に本校中庭の保護池からカワバタ

モロコを計約80匹放流。放流後のカワバタモロコ生息状況は・・・大きな池なので、池干し（地引網を使っての）観察となった。

池干し観察会 ー11月3日ー

池干し開始に先立って、大阪大谷大学学生による「池干し」「カワバタモロコ」の紙芝居がおこなわれました。



生きものの説明



地引網開始



小さな子ども達は興味津々!!



大量のアメリカザニガニ



カワバタモロコ生息観察

調査には、太子中学校社会科学部・TOKOTOKO・お寺ネット・一般参加の方を含めた約50名が参加しました。地引網には、ウシガエルのオタマジャクシ（5）・ハイイロゲンゴロウ（3）スジエビ（7）・ヤゴ（3）・カワバタモロコ（17）・アメリカザニガニ（推定約3000）

今回ブルーギル・ブラックバスが一匹もかからなかったことなどから昨年（2015）の池干しの効果は大きいと考えられる。

今回の調査で、アメリカザニガニがかえって増えている事が分かった。アメリカザニガニの駆除をどうするのか！が今後の課題となった。

この調査により、数少ないカワバタモロコの生息が確認でき、新池のカワバタモロコの保護池としての役割は十分期待できる事が分かった。

新池清掃



池干し観察会終了後、池の周りを清掃。缶・ペットボトルスーパーの袋・お菓子袋等のたくさんのゴミを回収しました。池の清掃に参加して下さった皆様ありがとうございました。回収したゴミは、懐風館高校で責任をもって処理させていただきます。



カワバタモロコ



後日談

11月12日 駒ヶ谷町会長さんから「新池の堤で水漏れが起きている。いつ修理できるか目処が立っておらず当分水を入れることができない」との連絡があり、新池でのカワバタモロコの保護繁殖は中断せざるを得ない事態となりました。残念！